

平成25年度 第1学期 始業式 式辞

- 本校自慢の校門の桜の花も、今年は一足早く先日の合格者説明会の日に、新入生の皆さんをお祝いするかのように一輪開花しました。
- 今日の始業式には、残念ながら、満開の時期はもう過ぎましたが、風雪にも耐え忍んでようやくこの時期に合わせて開花する桜と、艱難辛苦を乗り越えて生きていく人それぞれの人生を重ね合わせるのは私だけでしょうか。
- さて、2・3年生の皆さん、進級おめでとう。
- また、新たな気持ちで新学期を迎えてくれたことと思います。
- その新学期にあたり、常に意識をして心掛けてほしいことが二つあります。一つ目に、「何をなすべきか」、二つ目は「**努力し続けることの大切さ**」、三つ目は、「**自己を磨くこと**」の三つです。
- まず、**一つ目に、「まず、何をすべきか」**について
- 「3年生は進路実現を成し遂げること」
- 3年生は最上級生として、リーダーシップを発揮してもらいたいものです。学校行事や生徒会活動、ホームルーム活動等に積極的に参加して、大きく成長してもらいたいと思います。
- 3年生は進路実現の年です。進路実現は学校生活3年間の集大成でもあります。したがって、より早く自分の能力や適性を見極めて、進路決定に結び付けてもらいたいものです。今日の経済状況から雇用情勢は厳しくなることが予想されます。そして、厳しい経済状況を踏まえながら、働く意義を体得して、十分な備えをしてもらいたいものです。
- 「2年生は挑戦し飛躍すること」
- 2年生は学校のかなめです。生徒会活動や部活動等のかなめとなります。2年生は新入生から頼られ、また3年生からも頼られる重要な立場です。2年生は、努力の違いが大きな差となって表れる学年であります。資格取得、部活動、生徒会活動等においても、1年生で基礎を固め、その土台に確かな構築物を築き上げてもらいたいものです。
- 2学年は「中だるみ」の学年とも言われますが、何事にも自ら挑戦することによって、学校を飛躍させる原動力となってもらいたいものです。
- そして、**二つ目に、「努力し続けることの大切さ」**について
- 志とは目標を高く掲げ、努力し、成し遂げることです。高い志とは、自分の力で目指すことができる「より高い目標」のことです。
- たとえば、資格取得では、検定1級に挑戦する場合、まずは3級に合格し2級に合格する。階段を一段一段駆け上がるように、着実に実力を身に付けて、上に向かって登り続けることです。そして、合格したら、また次の目標に向かって努力しつづける姿勢が重要です。

- 部活動でも、「優勝」という高い目標を常に掲げ、優勝を目指して努力しつづけてもらいたいものです。現に先輩たちは、文化部においても運動部においても、全国大会や近畿大会に出場を果たしています。このように、具体的な目標を掲げて、目標に向かって、努力を惜しむことなく、突き進むことが大切です。
- 努力することは地道なことです。地道な努力こそが、より美しく、より大きな花を咲かせることになるのです。詩人で書家の相田みつを氏の詩に、次のようなものがあります。
- 「花を支える枝/枝を支える幹/幹を支える根/根はみえんだなあ」
- 美しい花には、枝や幹や根の、目に見えない生命の営みがあるのです。根が栄養を吸収して、立派な幹を育み、枝を育み、花を咲かせる。根の営みの見えない地味な活動が、花にとっては欠かすことができない。根の営みのような努力こそが目標を達成するために大切です。
- 最後に**三つ目の、「自己を磨くこと」**について
- 高い志をもって、頭脳を磨き、心を磨き、体を鍛えつづけてもらいたいものです。経営学者ドラッカー氏は『知識は絶えず磨かれ鍛えられ、育まれなければならない。怠れば衰退あるのみ。』と述べています。知識は、授業を受けたり本読んだりして、知識を深めようと努力しなければ、それ以上の発展はないのです。むしろ、落ち込むだけです。つまり、知識や技能は、磨きつづけることによって、その人の進化や発展があるというものです。
- たとえば、剣というのは、砥石にかけて入念に研ぎあげなければ、鋭い切れ味がうまれてこない、ということです。つまり、鋭い剣でも長い間、ほったらかしにしておけば、錆びついて使い物にならなくなってしまうという意味です。だれもが磨きつづければ、立派な人間に成長するということです。
- 「切磋琢磨」という言葉がありますが、「切」は、獣骨や象牙を切る。「磋」は、それをみがく（こする）。「琢」は、玉や石を鑿で形をつける（きざむ）。「磨」は、それをみがく（くだく）。つまり、象牙や玉を磨くように、自分自身で自ら、学問や人格の向上に努力することを言います。
- このように考えると、この1年間は、非常に重要な時期です。ただ、漫然と過ごすのではなく、授業はもちろん生徒会活動やクラブ活動などの自主的な活動の中で、各々が人間関係を築き、自助努力の精神を忘れないで一生懸命に励んでいただきたいと思います。
- また、3・1の震災後、特に思いを強くしてほしいのは、皆さんにとっては、一日一日が平凡な日々であっても、不自由なく送れることに感謝したいものです。そして、学業に専念できることは、この上ない幸せだと思います。この幸福感を高校生活の推進力として、学校生活を充実させ大きく飛躍することを期待します。
- とともに頑張ってください。